

編集 staff

監修：片山 嘉政（副会長）
編集長：小山 陽介（事務局長）
編集：岡村 晃平（事務局）



編集後記

鶴の声もVol.3が完成しました。発行にご協力いただいた卒業生の皆様誠にありがとうございました。今年度は卒業生が推薦する同窓生特別すいせん入試が大学で実施されるなどより一層大学と同窓会の連携が強くなり皆様のご支援・ご協力が必要となって参ります。また、来年の4月には、子ども教育学部の学生も輩出され音楽・食文化・子ども教育の3学部の全てが揃います。現在、全国至るところで同窓会活動にご尽力いただいておりますが、食文化学部・子ども教育学部の卒業生にも音楽同様、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888

(大学代表番号)

Fax:086-523-0111

katayama@ksu.ac.jp

鶴の声

vol.3 2011.7

TOPICS

鶴声会 近況報告

あの先生は今・鶴声会役員紹介

あの人は今

特集 元吉恵子名誉教授に聞きました

同窓生の声

イベントガイド

作陽 知っ得情報

東日本大震災で被災された皆さまに、心からのお見舞い申し上げます。被災地の皆さまが、少しでも早く穏やかな日常を取り戻せるよう、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



ごあいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

会長 井端 豊実

(音楽学部音楽学科4期生)

8千名を超える会員の皆さん、その後お変わりございませんか。「たしなみの武辺は生まれながらの武辺に勝れり」これは、戦いの天才といわれた織田信長の言葉です。努力あってこそ成功できる。つまり、鍛えて得た能力は、生まれもった能力よりも優れているということです。「継続は力なり」を心の支えとして全力投球してきた教職生活も、おかげさまで、3月末日をもって退くことになりました。この道を36年歩いて、大退なく今日にいたりましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。別れの定番でもあり「唱歌最大の謎」とされてきた「仰げば尊し」の原曲が、19世紀に米国で作られた「卒業の歌」だとわかったことが新聞で紹介されていましたが、この厳かな曲調に涙しながら、同じような思いで第一線を退かれた皆さんも多いかと存じます。大変お疲れ様でした。



作陽学園

学園長・理事長 松田 英毅

くらしき作陽大学鶴声会会員の皆さん、お元気ですか。去る3月11日東日本大震災があり、多くの方が犠牲になりました被災され、苦難の生活を送っておられます。皆さんとともに亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災者へのお見舞いを申しあげ、一日も早い復興を願いたいと思います。私はこのたび学長を退任し、学園長・理事長職に専念することになりました。後任の有本章新学長は高等教育がご専門で国の内外で活躍されておられる方であり、きっと本学を一段と飛躍に導いてくださると確信しています。会員の皆さんの、これまでと同様のご支援ご協力を



くらしき作陽大学

学長 有本章

今回、地震・津波・原発が複合して生じた東日本大震災によって被災された方々のご冥福を謹んでお祈りし、被災地の復旧・復興を心から祈念しております。卒業生の皆様にはお元気で活躍のことと拝察いたします。私は松田英毅学長を継いで4月から学長に就任しました。皆様にご挨拶する機会を得ましたことを嬉しく存じます。本学は、大乗仏教に基づく建学の精神によって豊かな人間教育をめざすことに創設以来努めました結果、今日まで輩出した8,208

ところで、去る3月11日に発生した東日本大震災からすでに数か月が過ぎようとしています。1世紀に一度あるかないかの未曾有の大災害により多くの方が被災されました。会員の中で被災に遭われた方がおられたのではないかと心配しています。被災された方々へお見舞い申し上げるとともに、尊い命を失われた方々に哀悼の意を届けたいと思います。

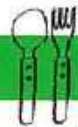
さて、昨年の鶴声会総会は支部創立35周年を迎えた高知県にて開催いたしました。中でも1期生・2期生の皆さんにはたくさん参加していただき懇親会を盛り上げていただきました。会場ではあまりの懐かしさに大きな声で名前を呼びあい、当時を思い出すには十分すぎるほどの心温まる再会の宴となりました。お世話になっていた高知県支部の皆さんには心から感謝申し上げます。来年度は岡山県支部の皆さんにお世話になります。まだ一度も会費のキャンパスを訪れていない会員の皆さんも多いかと存じますが、是非、キャンパスツアーを計画されてはいかがでしょうか。心よりお待ちしております。

最後に、会員皆様方の今後益々のご活躍とご健勝を祈念し、あいさつとさせていただきます。

をお願いします。本学は現在、音楽学部、食文化学部、子ども教育学部と大学院音楽研究科を擁する大学であり大変特色あるものになっています。少子化の中で各学部とも頑張っていますが、食文化と子ども教育の2学部は若干右肩あがりがあるのに対し、最も伝統ある音楽学部が苦戦しています。そこで従来の伝統的な音大の行き方をやめ、明確な特色を出す方向に転換しようとしています。従来、一般的に「音大に行っても就職はない」と言われていたイメージを「作陽に行けば就職100%」といわれるような音楽学部への変身です。音楽学科は徹底したプロの音楽家養成を目指します。卒業時には、プロの演奏家が大学院進学又は就職します。音楽教育学科は全員に資格を取らせ、100%就職を目指します。これを5年かけて軌道にのせるというものです。作陽の中心でもある音楽をより一層魅力あるものにするため、皆さんの特設のご支援をお願いします。終わりにくらしき作陽大学鶴声会の益々の発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

名(2011年4月現在)の卒業生各位が学歴「念願は人格を決定す 継続は力なり」の成果をいかに発揮され、「菩薩道を歩むプロ」として社会発展に貢献されております。学部の専門性は区々ですが、人間教育の真髄は、美しい「音」(音楽学部)、心とどく「食」(食文化学部)、思いやりの「心」(子ども教育学部)、などを世の人々に提供するべく、卒業生に共通した豊かな人間性を醸成することです。卒業生の皆様のご活躍を通してこの人間性の実りある表現がなされていることは、本学の誇りであり個性であると言って過言ではありません。皆様ご成果を具現していただいていることは、1,318名の在学生に有形無形の激励と勇気を与えておりまして、教職員一同は心から敬意を表し、感謝しているところであります。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げますとともに、今後とも本学ならびに後輩たちに一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

鶴声会 近況報告



鶴声会 副会長 片山 嘉政

各支部等において様々な活動が展開され、また新たな試みも計画されていますので、まずは、ご報告とご案内からさせていただきます。

平成23年3月27日に鹿児島県支部において、支部単独でスプリングコンサートを開催され、鹿児島県民交流センターで開催され、多くのお客様に作陽の卒業生の高い演奏技術を披露され、大成功をおさめられました。

平成19年より高知で同窓会と大学と高知県吹奏楽連盟の共同事業として吹奏楽クリニックを実施しています。今年は5月15日に岡豊高校で受講者600名を対象に楽器別クリニックを実施しました。

平成23年5月22日には関西支部総会が多くの参加者のもとで開催されました。

平成23年11月には岡山県支部でも支部単独でのコンサートが計画されています。近日中に詳細が発表されます。

このように各地で支部のご活躍の報が日々届いております。また卒業生の方が大学に携わるこ



コンクール実績

第2回全日本ピアノオーディション

●第3位(1.2位なし)

音楽学部音楽学科 4年 長家 万純さん

第11回大阪国際音楽コンクール コンチェルトオーディション

●ファイナル エスポアール賞

平成23年3月 卒業 八島 沙織さん

第55回西日本国際音楽コンクール

●西日本新聞社賞

音楽学部音楽教育学科 4年 上杉 祐加さん

組織図

2011.04.11現在



あの先生は **今**



Katsuyuki Yano
矢野 勝之 (やの・かつゆき)

で過ごしました。約200人の学生をレッスンさせていただきとても幸せでした。

教員生活42年の思い出を教えてください。

学生さん達と一緒に各地で演奏旅行をしたことですね。音楽専攻生合唱団とVln、Pfの若手教員の大集団です。岡山の県南をはじめ、四国の愛媛、長野に行ったりしました。その中でも忘れられないのが、夏休みに長野県に行った時のことです。Vo、Vln、Pfのソロそして合唱と、とてもバラエティにとんだコンサートを行い、盛況に終わりましたが、その帰りの道中に、山道で土砂崩れにあい、身動きがとれなくなるアクシデントに遭遇しました。かなりの時間、バスの中に閉じ込められたのですが、近隣の住民の皆様がわざわざ食事を差し入れしてくれて、とても助かりました。何とか無事に帰って、ほっとすると同時にどっと疲れました。今でも、バスに乗り込んでいた卒業生や教員と会うと必ずその話になる出来事でしたね。

卒業生へメッセージをお願いいたします。

42年間教員をやって一番楽しかったことは、レッスンの場において僕の言葉が足りなくても必死にレッスンをしている中で、学生が僕の思いを感じ、意図していた以上に深い細分にまで理解して受け取ってくれた事は、とても嬉しかったです。「ありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんも、熱心に誠意をこめて接すれば必ず相手に思いが伝わると信じて、頑張ってください。そして、どうか皆様ご自愛いただき、お元気で活躍してください。

近況を教えてください。

退職を機に念願の海外旅行をしました。学生時代から地歴が好きだったので、実に楽しい旅でした。しかし、私の英語力の乏しさを痛感し、残念な思いもしました。それで今、英会話のサークルに参加しています。今までは、世間話をするのにも、音楽と関わりある方と接することが多かったのですが、ここでは様々な職種や年齢の方々との交流が実に新鮮に感じられ、本当に楽しんでいます。それから、12年前に音楽教育のたてのつながりを考えていく岡山県音楽教育学会を岡山大学の井戸先生と立ち上げました。この学会は、前進の岡山県音楽教育学会を発展的にしたもので、岡山県の保育園、幼稚園～大学までの音楽に関係している先生の学会です。現在はその学会の理事を務めさせて頂き、若い現役の先生方のお手伝いをしています。

作陽に赴任したきっかけを教えてください。

僕が、島根大学の4年生時に担当教授から作陽音楽大学助手への強い勧めがあり、作陽に来ました。何年か助手をしながらピアノの勉強を続け、ゆくゆくは本格的に就職活動をしよと思ったのですが、「レッスンを担当してくれ」と作陽の勤務初日に言われ、正直戸惑いました。何せ最初は教授のもとでアシスタントを勤めると考えていたもので、「この僕がレッスンをするの?」という感じですね。それから2～3年は、試行錯誤を重ねながら必死にレッスンをしていました。

作陽へは何年お勤めになったのですか?

僕は、23歳の時に作陽に来ましたから定年後の非常勤講師時代を含めると42年作陽にいました。青春時代も音楽も全て作陽

鶴声会役員紹介

副 員				会 長		副 会 長			
菊井 剛 S45.音楽学科	中桐 實 S46.音楽学科	大林 史明 S49.音楽学科	松井 輝善 S45.音楽学科	井端 豊実 S48.音楽学科	安部 欽也 S52.音楽学科	片山 嘉政 H2.音楽学科			
事務局長		事務局		書記		会計		常任幹事	
小山 陽介 H13.教育音楽学科	長山 薫 H14.音楽学科	岡村 晃平 H20.音楽学科	山田 敬彦 H10.音楽学科	武田 真理子 H12.教育音楽学科	逸見 奈保 H17.教育音楽学科	太田 祥子 S45.音楽学科			

あの人は **今**



Takumi Shimoda
下田 琢己 (しもだ・たくみ)

経歴
S.48年 作陽音楽大学音楽学部音楽学科入学
S.52年 作陽音楽大学音楽学部音楽学科卒業
S.52年 広島交響楽団オーボエ奏者として入団 現在に至る
エリザベト音楽大学、広島文化学園大学学芸学部、広島大学教育学部 非常勤講師

現在は何をされていますか?

広島交響楽団のオーボエ奏者を勤める傍ら、エリザベト音楽大学、広島文化学園大学学芸学部、広島大学教育学部 非常勤講師として後進の指導にあっています。

学生時代の思い出を教えてください。

津山の町で学生生活をはじめ、友達にも恵まれ尊敬する先生の指導を受け、多くの演奏会に出演させていただき、又、演奏旅行等にも出演しました。今、好きな演奏を生かし、オーケストラで働いているのも、大学時代のおかげだと思います。

印象に残っている先生の名前を教えてください。

岩崎 勇 先生



たくさん思い出の詰まったキャンパスだと思いますが、学生時代好きだった場所などありますか?

岡山から津山線に乗り津山駅に着き、正面に吉井川に架かる今津橋から左方向に見える作陽音大の校舎、その眺めはとてもいい場所でした。津山の商店街方面へ行くと、鶴山が見えます。春になると桜の名所として、観光客が城跡桜見学で賑わっています。公園の中にある津山文化センターは、作陽音大の行事に使われました。吹奏楽定期演奏会、オーケストラ定期演奏会などたくさんの演奏会を行いました。すべて津山の好きな場所です。

最後に同窓生にメッセージを一言お願いいたします。

S.52年度卒業の皆さんお元気でしょうか?
私は作陽音楽大学を卒業してすぐ広島交響楽団に入団して今日に至って35年目になります。
皆様は各方面でご活躍のことと思います。
いつの日か、再会できるのを楽しみにしています。

常任幹事						
元吉 恵子 S45.音楽学科	岡田 敬二 S45.音楽学科	久宗 旬子 S45.音楽学科	林原 郁雄 S46.音楽学科	上甲 広文 S48.音楽学科	山下 武 S49.音楽学科	高見 恒代 S52.音楽学科
常任幹事		幹 事		監 査		
中井 章徳 H11.音楽学科	中島 尚子 H17.音楽学科	宇佐見 朋子 H18.音楽学科	田中 秀輝 H19.音楽学科	浜崎 明美 S49.音楽学科	徳永 晶子 H5.教育音楽学科	

同窓生の声



森本 尚聖さん
(もりもと・なおさき)

卒業年度：平成18年度
学科：食文化学部栄養学科

主科の先生または思い出の先生の名前を教えてください。

藤原尚子先生

学生時代の思い出を教えてください。

大学時代は勉強にスポーツに遊びにと充実していたことを思い出します。大学4年のゼミでは、給食経営管理を学ぶため、藤原尚子先生ご指導のもとゼミ生9人で給食会社を設立した想定で実際に大量調理を行い提供しました。なかなかうまくいかずに頭を悩ませたこともたくさんありましたが、皆で乗り越えていきました。管理栄養士の試験も皆がいてくれたおかげで通ったと思います。そのおかげでゼミ生みんな家族のように仲がよく、今でも連絡を取り合えることはとても嬉しいです。

現在の活動を教えてください。

現在は、メーカーの商品開発部に所属しています。自社で開発された商品のパッケージへ記載する文言や調理レシ

ピなどを、実際に食べたり調理をして作成する仕事を担当しています。なかなか難しいですが、自分の知らない料理に出会ったり、調理に関する知識が深まったりなど、毎日が新しい発見でとても勉強になります。

プライベートでは、学生時代からやっている硬式テニスを今でも続けていて、会社の同僚を集めてテニスサークルを作ったり、仲間が集まって汗を流して楽しんでいます。

同窓生にメッセージを一言お願いいたします。

平成18年度卒業生のみなさん、先輩後輩のみなさん、お元気ですか?日々忙しい毎日を送られてることと思います。

またみなさんと集まれたらいいなと思っています。出会える日を楽しみにしています。



主科の先生または思い出の先生の名前を教えてください。

白村美智代先生、今村三明先生、山下武先生

学生時代の思い出を教えてください。

学生時代は、特に作陽パーカッショングループコンサートが思い出に残っています。打楽器だけの大人数でのアンサンブルは、初めての経験でした。その迫力と演奏を終えた後の達成感は感動するものでした。それはただ自分が頑張った満足感ではなく、指導して下さる先生方、スタッフの方々、そして一緒に演奏する仲間といった沢山の人の関わり、協力があってこそ成功するという事を実感出来た事でした。大人数だと、意見がまとまらず大変ですが、逆に言えば沢山の意見が聞けて視野が広がります。アンサンブルを通して音楽的にも人間的にも学ぶ事が出来、有意義な時間を過ごすことができました。

現在の活動を教えてください。

現在は、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマに在学しています。マリimba・打楽器を基盤に、室内楽やオーケストラ等を勉強しています。郡内で打楽器アンサンブルのコンサートを行ったり、オーケストラや吹奏楽の演奏会にエキストラ

大野 枝里子さん
(おおの・えりこ)

卒業年度：平成19年度
学科：音楽学部音楽学科
専攻：打楽器

出演しています。地元九州でも、マリimbaのコンサートを開催しています。

同窓生にメッセージを一言お願いします。

私にとって、くらしき作陽大学は、音楽を勉強するには、とても良い環境にありました。

どんな環境下においても、大学生活又は、自分自身の未来は大きく変わると実感しました。楽しいことの裏側には苦勞も必ずあるという事、その苦勞を乗り越える為には、仲間を信じる事、そして自分の可能性を信じて、何かに取り組む事は、きっとこれからの人生において大きな力になると教えていただきました。ありがとうございました。

皆様、これからも健やかに健康に過ごされるようお祈りいたします。



学内にいる同窓生の紹介



中島 尚子さん (なかしま・なおこ)

平成17年度 音楽学科モスクワ音楽院特別演奏コース

皆さんこんにちは。私は、くらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コースを卒業し、昨年よりピアノ講師として働いております。週50人のレッスンは、とてもハードで自分を見失いかけています。ですが、学生の熱心な姿、笑顔に励まされ、エネルギーをもらい活気に変わっています。何より母校で働けることに感謝し、今後も日々精進していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお祈りいたします。

在学生紹介



羽子田 夏貴さん (はわた・なつき) 音楽学部音楽教育学科吹奏楽指導専修 2年

マーチングを体験し、身につけて、少しでも自分の音楽の幅を広げたいという思いがあり、また、お世話になった先生方のご縁もあって、くらしき作陽大学への進学を決意しました。

今年の3月27日(日)に鹿児島市内で行われた、同窓会鹿児島県支部主催「くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学卒業生によるスプリングコンサート」にスタッフとして参加させていただきました。大先輩方の演奏を聴き、またその姿を見て感動し、良い刺激を受けると同時に、とても勉強になりました。

将来は、教師として教壇に立ち、また良き吹奏楽・マーチング指導者になりたいと思っています。そのためにも、今のうちに様々な体験を通して、音楽的なことはもちろん、自分自身をどんどん磨いていきたいです。

山口 美紀さん (やまぐち・みき) 食文化学部現代食文化学科 3年

私は家庭科教員の資格を取得したいと思っていました。作陽大学は他にも栄養士・フードコーディネーター・食品衛生管理者・製菓衛生士など数々の資格取得が出来るとこに魅力を感じ、入学しました。今は給食実習や栄養学実習、教職では指導案を考えて発表など、目が回りそうなくらい忙しいです。でもどれもやり甲斐があるし、皆がいるから楽しく充実した毎日を送っています。将来は家庭科教員になりたいです。学んだことを生かしながら、家庭の楽しさを伝えていける教員になりたいと思っています。



三東 春菜さん (さんとう・はるな) くらしき作陽大学子ども教育学部子ども教育学科 4年

私は音楽と食育に長けた本学の校風と、子ども教育学部の先生方の温かい雰囲気の魅力を感じ、くらしき作陽大学への進学を決めました。現在は、職種は違えど「幼児教育に携わりたい」という同じ夢を持つ仲間達と共に、大学での講義や演習、地域の保育所でのボランティア活動など、日々の勉学に励んでおります。私の将来の夢は保育士です。日々の些細な出来事の中にも、驚きと発見を見逃さず、子どもたちと一緒に笑い、一緒に感じ、そして一緒に成長できる保育士になりたいと思っています。



